



あなたの声をリレーする

やりがい、
いきがい。
たかがい！



平成28年3月26日 たかがい恵美子総決起集会 看護会館みらいにて

CONTENTS

●対談「東日本大震災を乗り越えて」	P2～P9
●議員との交流	P10
●活動報告	P11
●たかがい恵美子総決起集会	P12・13
●総会	P14・15
●私の趣味	P16・17
●今後の予定 ●編集後記	P18

看護の心を、みんなの心に



を乗り越えて

—明るい未来を築くために—

対

EMIKO
TAKAGAI

たかがい恵美子 議員

参議院議員



安心・安全な国を守るために

高 階 年明け早々の国会召集で、大臣には連日ご多

忙のところと存じます。本日はよろしくお願ひいたします。

岩 城 こちらこそよろしく。

高 階 法務大臣の立場あるいは法務省の役割について他の役職と違うな、と感じになる点はござりますか。

岩 城 そうですね。3カ月たちましたけれども、法務行政はすごく幅が広いですね。登記のこととか、人権擁護、矯正、更生保護、出入国の管理等、なんといいましても法的な基盤を整備して国民生活の安全・安心を守るという大きな使命がありますので、身の引き締まる思いで責任感を持つて取り組んでおります。

高 階 大変な毎日と思います。

岩 城 特に安全・安心という点からいえば大きく二つあって、一つはテロ対策ですね。パリのあの大量の犠牲者が出了テロ事件はじめ、ここ数カ月でも世界各地でテロの事案が発生していますので、日本では絶対に起こしてはなりません。更に、今年は伊勢志摩サミットがありますし、4年後に東京オリンピック・パラリンピックもありますので。

高 階 日本は治安大国ですから、先生の手腕に係るところが大きいですね。

岩 城 そうですね。だから、そういうテロ関連者と思われる人間を日本に入国させないような、厳格な入国管理というのをしなければいけませ

東日本大震災



法務大臣参議院議員

いわき光英 議員

MITSUHIDE
IWAKI

談

第24回参議院選挙に、福島選挙区から候補予定の岩城光英法務大臣と全国比例から候補予定のたかがい恵美子参議院議員のお二人に、「東日本大震災を乗り越えて」をテーマに対談していただきました。

高

階

短期的な見方だけではなく、地域全体を視野に入れて長期的な視点に立つて、対策を考えいく必要がありますね。守るべきことは、確実に守

ん。ただ、その反面、日本は観光立国を目指して、外国人の訪日客が2,000万人近くに達しようとしていますよね。オリンピックに向けてともつともつと多くの外国の方々がおみえになりますから、入国審査をスムーズにするという二つの課題を抱えていますので、これをなんとか両立させるように努めています。もう一つは犯罪をなくしていく。これは安全な地域づくり、まちづくりにもつながっていくのですが、特に再犯ですね。2回、3回と犯罪を重ねる人の割合が半分近くになってきてるんですね。刑務所等に収容されている方の6割近くが再犯者で占められていますので、再犯をなくすというのが大きな課題であり、国を挙げて取り組んでおります。そのためには、出所しても、仕事それから居場所を確保しないと、また犯罪に手を染めやすくなってしまう、そういう状況に置かれてしましますので、収容されている施設の中での教育とか、さまざまな職業訓練を充実させると同時に、出所した後の居場所、雇用の環境整備、これにも取り組まなければならないという大きな課題があります。例えば保護司とか更生保護女性会の皆様方とか、前歴のある方を雇用していただく協力雇用主の皆様方とか、BBS活動に取り組んでいる若い青年とか、そういう民間のボランティア的な活動にも支えられているという、感謝の気持ちを持つております。

ん。ただ、その反面、日本は観光立国を目指して、外国人の訪日客が2,000万人近くに達しようとしていますよね。オリンピックに向けてともつともつと多くの外国の方々がおみえになりますから、入国審査をスムーズにするという二つの課題を抱えていますので、これをなんとか両立させるように努めています。もう一つは犯罪をなくしていく。これは安全な地域づくり、まちづくりにもつながっていくのですが、特に再犯ですね。2回、3回と犯罪を重ねる人の割合が半分近くになってきてるんですね。刑務所等に収容されている方の6割近くが再犯者で占められていますので、再犯をなくすというのが大きな課題であり、国を挙げて取り組んでおります。そのためには、出所しても、仕事それから居場所を確保しないと、また犯罪に手を染めやすくなってしまう、そういう状況に置かれてしましますので、収容されている施設の中での教育とか、さまざま

らなければいけませんので、いわゆる“蛇口”的閉め方は、しっかりとおくことが必要です。

震災から5年、今後の課題は

高
階

東日本大震災の発生から丸5年を迎えます。これまでの復興・加速という考え方から少し進んで

なげていく段階だと思ってます。この5年間を振り返りますと、巨大地震と津波による甚大な被害から、地域の暮らしをどのように取り戻していくのかといったこと、特に被害の大きかつた岩手、宮城、福島の3県それぞれの被害の様相と復興の進捗の違いに着目したうえで、歩調を合わせていくことが課題だつたと思します。発災当初は、何から手をつけていこうかということに追われていましたし、その後は新たな住まいの再

育と社会保障を整えることに必至でした

大きな課題でした。

福島に焦点を当てますと、具体的に
降はどんな展望をお持ちでしようか。

岩城

ですよね。私があの年の秋に参議院自民党の政審会長に就任しまして、「原発被害からの福島復興委員会」を立ち上げました。その委員長に就き、地元の団体、市町村長、それから民間の方々をお招きして要望を伺いました。もちろん、我が

A photograph of a woman with dark hair, smiling broadly. She is wearing a blue plaid blazer over a light blue top. Her hands are clasped in her lap. The background shows a wooden paneled wall and a window with a white frame.

党の参議院議員全員に参加していただき、それを各委員会で質問に取り上げ、政府に対しても現場の声を、被災地の声を訴えていただきました。

高階先生はその先頭に立つてご活躍下さいまし

た。参議院議員、特に比例の先生方は専門分野

をお持ちですから、非常に我々は心強い思いが

いたしました。今も当時の危機感を持つていて、だ
いでいる事の原点だと思います。

自民党が野党時代から、復興に關して一体的

な検討をする東日本大震災復興加速化本部（当時の谷垣総裁が本部長）の貢献は大きいものでした。我々が与党になりましてからは、大島先生

一明るい未来を築くために— 東日本大震災を乗り越えて

東、そのための廃炉、汚染水対策とか、まだまだ難しい課題もありますので、国が前面に立つた形で事故の収束にあたっていくのがまず第一ですね。それに伴いまして、除染、中間貯蔵施設、賠償等の課題も、解決していかなければなりません。

健康管理、これは看護師の皆様方に、役割を果たしていただくことが多いですが、それに風評被害ですね、そういう課題がたくさんあります。が、これらをしっかりと予算を確保して取り組んでいかなければいけないと思っております。
もう一つは復興庁。復興庁は10年の期限組織であり、あと5年です。

高 隅 しかし率直に言えば、やつと省庁らしい仕事をするようになってきたという感じなのですが。

岩 城 ですから、残された時間で、復興庁として、岩手、宮城も含めた復興に向けて、ある程度道筋はつけられると思いますが、福島の場合には復興府的な新しい組織を作り、継続していただきたい」と、難しい部分がありますので。

高 隅 そうですね、私も同感です。

岩 城 その辺もしつかりと対応できるように、地元の国会議員として取り組んでまいります。

若者の定着と地方創生に向けて

高 隅 私なりには、若者の定着促進策を強化していくなければいけないと考えて、ここで育ち、この地に定着するだけではなく、いつたんふるさとを離れたとしても、また戻ってきてもらいたい、福島県内にとどまつてもらうような支援策

が必要です。

そうしないと「わが町、わがふるさと」が、元気にならないかと思うのです。そういう点について、国として支援の目を強化してもらいたいと思います。

また、先ほど大臣も触れておられた観光振興ですね。東北全体の観光業が、今日なお、震災前の水準にすら戻っていないという深刻な状況です。福島県は浜通りから会津まで、内陸の奥深くまで、非常に豊かな自然があり、また独特の食文化があります。

岩 城 そうですね。

高 隅 お蕎麦はおいしいし、まんじゅうやスルメの天ぷら、ニシンの山椒漬けなどは、日本中どこへ行つてもいいのです。そういう懐の深さを、やはり時間を見ていてもらいたい。そういう良さをアピールすること、付加価値をもつともつとつけていくことに力を入れてもらいたい。そういう思いがとても強くあるんですね。

岩 城 昨日の高階先生の代表質問の内容ですね。高 隅 はい、そうです。昨日の本会議では、まさしくそういう思いを、総理にお伝えしたかったのです。

岩 城 同感という思いで聞いておりましたけれども、日本が、外國からおみえになる方々に、再生する事が、外國からおみえになる方々に、再生した日本の姿・底力を見せることになります。被災地にもどんどんおいでいただきてですね。

高 隅 元気になった姿を見もらいたい。

岩 城 そのために、高階先生の代表質問で取り上げていただいた観光の振興、それからインフラの整備、これは非常に大事なことだと思いますので、

岩 城 我々は力を入れていかなければなりません。ICTの活用についても、これから大いに期待できる分野ですね。東北は雪が降るから、1年の3分の1ぐらいは、生活が不便だと思うんです

なところに仕事の場が見つかれば、家族で暮らしていくれる。

家計が安定していくことは、すごく大事なことで、先ほどの更生保護プログラムにも

通じるように思いますが、生活や生業に必要なノウハウを身に付けつつ、人とのコミュニケーションを学び、ネットワークをつくっていく、あるいは家族を育んでいく、ふるさとの誇りを身につけていく……。

被災地では、そういうことをもう一回やったいかなければいけない状況です。ですから、こうした面へのテコ入れ策を、もつともつと省庁横断的にしてもらいたいと思っています。

岩 城 そうですね。とりわけ4年後に東京オリンピック・パラリンピックが開かれますから。そのために、例えば工事関係の労働者がなかなか確保できないとか、資材が確保できないとか、そういう面はありますけれども、やはりオリンピック・パラリンピックまでに復興を確かなものにする事が、外國からおみえになる方々に、再生した日本姿・底力を見せることがあります。被災地にもどんどんおいでいただきてですね。

岩 城 そのために、高階先生の代表質問で取り上げていただいた観光の振興、それからインフラの整備、これは非常に大事なことだと思いますので、我々は力を入れていかなければなりません。ICTの活用についても、これから大いに期待できる分野ですね。東北は雪が降るから、1年の3分の1ぐらいは、生活が不便だと思うんです

ね。それにかかる経費も、燃料費も、雪のない地域と比べたら大きな負担になっています。収入は限られている一方で、住む場所の気候条件によつて冬場の支出が増えることや活動が制約されるという点で、少々不利な状況にあるわけです。これからは、こうした点を、実はこれがメリットなんだ！と言えるよう工夫できないだろうかと思ひます。時間軸でものを見るとか、文化的な特徴を見てもらうなど、スピードや額面の大きさでは測れない、何か質的な価値が評価されるようになるといい。容易には理解していただきにくく、もどかしさを感じることもありますが、ぜひ先生にもお知恵をいただきながら、一緒に頑張りたいと思っております。

震災後は特に女性支援が必要

高 階 最近気になつておりますのが、女性への支援です。震災の発生当初、福島の皆さんからは、婚約破棄や人工妊娠中絶など、女性にとって、またご家族にとって、非常につらい声がたくさん届きました。過酷な環境下で様々な風評もありましたから、ここには住めなくなるのではないかという不安を抱いたり、結婚や出産をためらう方も中にはおられたわけです。

しかしながら、少し関心が変化しています。例えば子どもの問題であれば、当初の「心のケア」や「運動不足の解消」「定期的な検診」という課題から「教育を受ける機会の充実」というように、女性支援という点では、復興作業

は、ふるさとに残された女性たちの心の問題や子育てをどうするかなどの相談もあります。これらは、当事者から表だつて切り出しにくいこ

とですし、一般社会の側からしても気づきにくく、対応が遅れがちです。これからは女性保護の観点をもつて、こうした潜在化しやすい女性の問題について、つぶさに対応していくことが重要と考えています。

岩 城 それは大切な視点ですね。

高 階 この5年間、現地に根ざした女性支援を続けてこられた方々からの声として、最近とみに多く聞くものですから、いよいよ中長期に入り課題がクローズアップされるときなのだと感じます。

これから、この5年間、現地に根ざした女性支援を続けてこられた方々からの声として、最近とみに多く聞くものですから、いよいよ中長期に入り課題がクローズアップされるときなのだと感じます。震災後は特に女性支援が必要

にあつている遠方からの労働者が、期間を終えて被災地を離れる際の問題など、中長期の生活設計に関わることが増えているように感じます。例えば婚姻まで至つていらない恋愛中のケースでは、ふるさとに残された女性たちの心の問題や子育てをどうするかなどの相談もあります。これらは、当事者から表だつて切り出しにくいくて、一般的な視点でも気づきにくく、対応が遅れがちです。これからは女性保護の観点をもつて、こうした潜在化しやすい女性の問題について、つぶさに対応していくことが重要と考えています。

岩 城 なるほどね。それはしっかりとフォローできる体制をとつていかなければいけないです。

高 階 5年の折り返し地点を過ぎますと、それ以外にも、まだまだ新しい芽が出てくるでしょうね。

地方に根付いた様々な取り組みを目指して

岩 城 特に浜通りの双葉地域は、避難指示解除により帰還が進めば、住民の皆様もふるさとに戻り、これから人口も増えてくると思うんですね。浜通り再生のため、帰還を促進する意味でも産業を集積させようということでもうご存じのイノベーション・コースト構想、例えば廃炉の技術あるいはロボット産業を、そこを集中的に育成していくなどして、新しい雇用の場を創り出します。

多くの外国の研究者とか学者の方々も訪れるようになると思うんですね。

高 階 そういう意味で福島県は、科学技術分野の飛躍的な伸びが期待されますね。

岩 城 そうですね。それと、あとは再生可能エネルギーですね。太陽光、風力、それから地熱、木質バイオなどが考えられます。

高 階 そういう分野のイノベーションが医療分野で

5年程経過したときから、類似の話題が増えたという経験談を聞いています。東日本一帯ではこれから、看護職や心理職に対して、そういう点での役割期待が求められるようになるのではないかと思います。これらに対する制度的な支援や

予算措置は、まだ十分ではないと思いますが、いかがでしょう。

岩 城 医薬品の分野でもそういう取り組みが今なさいかと思いますから。ですから、そういう意味で若い方が希望を持てるような、地域づくりをして

いく必要があると思います。

高 階 大臣は自転車がお好きで、トライアスロンの選手でもあって、いろいろな大会にも出ておられます。スポーツ振興を通じた地域活性化という面でも、福島県は非常に期待されますね。

岩 城 それは大事だと思います。ですから、例えば、川内村で、来る4月30日にマラソン大会を開催します。そういうイベントを通じて多くの方々が訪れて、実際、避難されている住民の皆様が戻ってきて、今こういう安全・安心な状況なのだということをじかに理解され、自然の空気を吸い、また帰られてからPRしていただくことも大事だ

と思いますし、そういう意味でスポーツの効用というか、大きいと思うんですね。だから、もつともつと多くのイベント、スポーツのイベントを

県内のそれぞれの地域で、自転車のサイクリング大会でもいいですし、トライアスロン大会でもいいですし、マラソン大会でもいいですし、そういう機会を多く作っていくことが必要だと思いますね。

高 階 ところで、トライアスロンは3種の競技ですけれども、3世代で競技をつなぐトライアスロンはないのでしょうか。要するに、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん。そしてお孫



さんが…。

お孫さんは三輪車で何キロ、次はお母さんがママチャリで走り、最後はおじいちゃんがといったように、世代でリレーするのも面白い。

岩 城 それは面白いですね。いいアイデアをいただきました。早速検討してみます。

高 階 そうすれば、いろいろな世代が、楽しみながら、地域を歩きながら盛り上がれる。給水所には地元の桃が出てきたり、そういう地場のものを取り入れても面白そうです。

岩 城 そうですね。トライアスロンではリレーという種目がある大会もあって、1人がスイムをやつて、次の人気が自転車で、3番目の人気がランというのもあるんですが、それで家族でやつているチームもありますけれども、今、高階先生からご提案があつたのはもつともつとファミリー的な大会ですから、考えてみましょう。

高 階 簡単に参加できて楽しめるものなので、夢が膨らみますね。

岩 城 工夫はしているんですよ。例えば猪苗代町の各スキー場は、あの震災以降、お客様が減少してしまいました。そこで、春から秋の時期にあのゲレンデを逆に登つていく「ゲレンデ逆走マラソン大会」を始め、私も何回か出場しました。本当にきついんですけども、終わつた後、また挑戦してみたいなと思つてしまします。各スキー場でシリーズを組んで、年間の優勝者を決めるとか、そういうイベントをいろいろ考えてやつていますので、しっかりと後押しをしていきたいと思います。

高 隅 岩城先生はたくさんいる議員の中でもトライアスロンの第一人者として、みんなのあこがれの的でもありますから、それを福島でやつてもらつたらすごくいいかもしない。

岩 城 早速提案してみます。でも、それは本当にいいアイデアですね。子どもたちにも楽しんでもらえますし。

高 隅 一緒に動くというか、一緒に何かをする経験というものは思い出にもなるし、体力づくりとか、町に対する関心を持つ機会にもなります。そういうことに予算がつけられるといいのですけれど、例えば国家予算の組み立てにおいても、そういう観点での配分は行われていないですね。

岩 城 ないです。これまでにはね。高階先生は何かスポーツはやられていたんですか。

高 隅 私は障害児だったので、それこそ小学校を卒業するまで運動を制限されていました。乳児は、生後3～4ヶ月の頸が据わるかどうかの時期に健診を受けるのですが、私はそのときに両足の骨頭が全く写っていないことがわかつて、重症の股関節脱臼と診断されました。すぐ手術をして、それからはギブス固定。ですから普通の子どもたちが一人歩きを始め、かけっこができるかどうかのときに、私は立ち上がるための足のリハビリをしていました。そんなわけで、ジャンプやかけっこは禁止だったのです。

岩 城 そうだったんですね。

高 隅 だけれども、手は元気なわけですよね。体を動かさないとダメだからというので、父が毎日

の送り迎えをするときに、小学校の校庭で鉄棒



じゃなく、海はどうだろうと思いつ、スキュー・バビングをやつたり。

自転車とマラソンとは違いますけれども、一応、私は海と山に季節ごとに入つて行つて、自然に遊んでもらうという過ごし方をしていました。

岩 城 そうですか。

高 隅 研究生活に入つた頃から自分の時間が取れなくなり、今ではすっかりスポーツには時間が割けなくなりました。

岩 城 今はスポーツは、運動は、選挙運動だけ。

高 隅 そのとおり（拍手）いいですね！

岩 城 すごく面白い対談になつていますね。確かに選挙運動がいよいよ佳境に入つてきました。誌面に掲載されるのは5月中旬らしいですが。

高 隅 そうなんですか。5月の月中旬です。

岩 城 ですから、ちょうどいい頃ですね。

高 隅 運動は運動でも選挙運動のほうに取り組んで。

高 隅 はい。私は無名のたたき上げの者ですから「仕事にはやりがい、暮らしには生きがい」と前置きしてから、「私はたかがいと申します」と自己紹介しています。今は、それに「よろしく、お願ひします」と続けて言うようにしています。

先生のキヤッチフレーズはおありますか。

岩 城 特別ないです。

高 隅 「やる気、元気、いわき」では……

岩 城 「やる気、元気、いわき」……いいですね、考えてみましょう。

高 隅 先生は「いわき市のがわき」「福島県の岩城」ですね。

岩 城 福島県内はそれで通りますけれどもね。

東日本大震災を乗り越えて

岩

城

高 隅 私もとてもありがとうございました。福島は、震災で、後援会の女性部の皆さんから、いろいろな研修をするときにお声がけくださいました。あれほど熱く迎えてくださったところはありません。岩城先生の地元が日本一だったと思います。

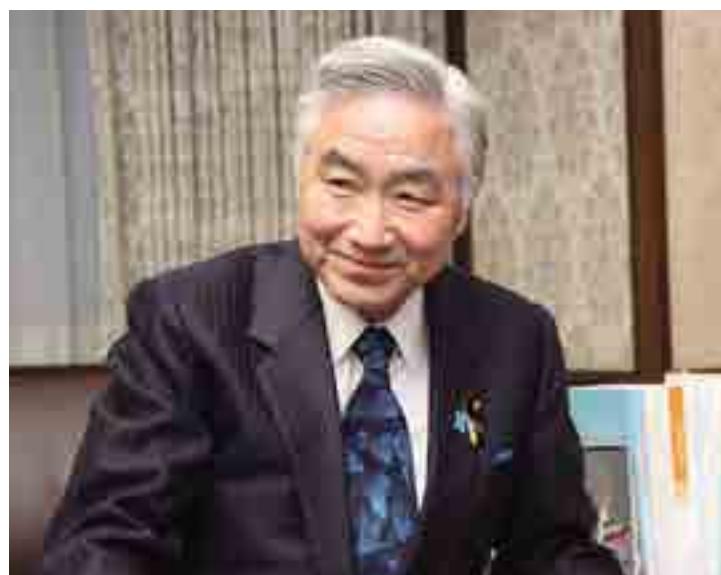
高 隅 私もとてもありがとうございました。福島は、震災で、後援会の女性部の皆さんから、いろいろな研修をするときにお声がけくださいました。あれほど熱く迎えてくださったところはありません。岩城先生の地元が日本一だったと思います。

高 隅 ばつちり名前を浸透していただいて、福島は“いわき”という名前で徹底して運動を展開できるといいですね。

岩 城 これまで皆さんに支えられてきましたけれどもね。

看護連盟には、前回、高階先生とペアで研修会に出させていただいたり、心強かったです。

高 隅 私もともとありがとうございましたし、とても印象深く心に残っています。岩城先生のところで、後援会の女性部の皆さんがいろいろな研修をするときにお声がけくださいました。あれほど熱く迎えてくださったところはありません。岩城先生の地元が日本一だったと思います。



高 隅 そうですね。

高 隅 地元に若いパフォーマーがいて、あのよう一緒に活動できること、女性局の強い意思があること、そうした方々と連帯して、私たち看護職も一緒に活動させていただけていたことに、とても強い信頼と勇気をいただきました。

今度は、あのパワーを7月10日頃?に、ちゃんと出す、結束して出す!と、そんなふうになるといいですね。

最後に、看護の機関誌をお読みの皆さんに大臣からのメッセージをお願いします。

岩 城 そうですね。とにかく福島の復興に向けては、我々も含めて、みんな、それぞれの立場で役割を果たしていくことだと思うんですね。”オールふくしま”で取り組んでいくて、30年後、40年後には世界で一番安全・安心な地域、そういうふるさ



とを創り上げる、それが子どもたちにも希望と夢を与えることになりますので、そういう思いで頑張っていきましょう。よろしくお願いします。

高 隅 私も、ともにがんばらせていただきたいと思いました。楽しい対談をありがとうございました。

岩 城 女性局長、頑張ってください。

議員の方たちとの交流

日本看護連盟は、自由民主党の友好団体となっています。そして、福島県看護連盟は、自由民主党福島県支部連合会の中の看護連盟支部として、お互いに活動の協力をしています。看護の様々な問題解決のためには、議員の方の協力がどうしても必要となります。

平成27年は、県議会議員選挙があり連盟会員も協力してきました。

下記に県本部中心として交流活動をしてきたものを記しました。他に各地区でも積極的に議員さんたちとの交流を行っています。

平成27年12月5日～ 岩城光英法務大臣就任祝賀会

郡山・福島・須賀川・いわきでそれぞれ開催

12月12日 北海道・東北プロック女性局会議(福島市)

平成28年1月4日～ 県連年始あいさつ(福島市)

1月26日 桜田葉子県議役員会(福島市)

1月29日 森 まさこ事務所訪問(いわき市)

吉野 正芳事務所訪問(いわき市)

岩城 光英事務所訪問(いわき市)



岩城法務大臣とたかがい議員対談(東京)

2月11日 知事を励ます会(福島市)

2月20日 岩城光英議員郡山選挙事務所開き(郡山市)

2月26日 阿部俊子議員3施設訪問(郡山市)

3月5日 勅使河原県議女性の集い(郡山市)

3月6日 勅使河原正之県議 早春の集い(郡山市)

3月14日 亀岡偉民新春の集い(福島市)

3月20日 県連定期大会(福島市)

田村総支部総会(船引)

3月23日 吉野正芳議員励ます会(東京)

3月24日 根本匠シンポジウム(郡山市)

3月27日 杉山純一議長就任祝賀会(会津若松市)

4月1日 達山会講演会(東京)

4月9日 岩瀬・須賀川地区大会(須賀川市)

4月10日 県連政経セミナー(郡山市)

第2選挙区総会(郡山市)

4月17日 長尾トモ子県議県政報告会(郡山市)

4月24日 参議院議員選挙必勝祈願際、選対本部開き(福島市)

4月26・27日 女性局中央研修(東京)



看護連盟活動報告

たかがい恵美子講演会

平成27年12月22日、会津大学において「たかがい恵美子講演会」が行われました。

年末の何かと慌ただしい時ではありましたが、会津地区の連盟会員、看護学生、看護学校の先生方など、多くの皆さんに参加していただきました。学生さんからの質問も出て、中身の濃い1時間となりました。



看護協会・看護連盟合同研修会

平成28年2月22日、看護会館みらいで、日本看護協会坂本すが会長を講師に迎え

「看護政策の課題と展望」というテーマで話を聞いていただきました。約200名の協会員、連盟会員の参加がありました。

看護政策がなぜ必要なのかというところから、連盟との協力体制や議員の力が重要である」となど、協会と連盟の役割が理解できる内容でした。



看護連盟新年交礼会

平成28年2月6日、郡山ビューホテルアネックスにおいて行いました。

連盟として、初めての開催となりましたが、国会議員、県議会議員の先生方をお招きし、看護協会役員、連盟役員・支部役員・青年部約80名の参加で行われました。それぞれ地区ごとにテーブルを囲み親交を深めることができたと思います。

これから看護・介護等を考えるうえで、協会・連盟・議員さんとの連携は益々重要になつてきます。より強い協力体制を築いていけたらと願っています。



たかがい恵美子 総決起集会

「やりがい、いきがい。

たかがい、おねがい！」

追加の椅子が通路にも並べられた満員の会場の最後列から、太鼓の響きに導かれ、その人は登場した。参加者と握手をしながら登壇するまでの道には花が咲いた。本内看護連盟会長・高橋看護協会会長・来賓の方々から、熱い激励が贈られた。そして遂にその人がマイクを握った。5年8か月前、野党からの出馬は意味がないと非難されたが、出馬したことは間違いではなかつたと確信したこと、当選し8か月目に起きた大震災、東北出身の現職議員として活動する中、最前線の看護師の思いに胸を痛め、後に与党となつてからは仕事の幅の広がりを痛感したことなど語った。そして今後の6年間は与党の議員としてスタートしたいのだと強い欲望を表し、東北を元気にしていく声をあげ続けること、医療・福祉の人材を確保・育成していくこと、女性の健康のための法案を提出していくことを、力強く語った。そして、「やりがい、いきがい。たかがい、おねがい！」とキヤッчи・ピーにはおまけが付いた。プログラムは、青年部のほほえましい応援メッセージージへと進み、太田綜合病院め組が打つ応援太鼓には腹の真ん中を揺さぶられた。応援歌を全員で歌い、福島のジョニー・デップ（羽田丈夫支部長）のガンバローコールに声を合わせ、清水千世・橋本広子両氏のそれは力強い司会進行により、会場の気持ちはひとつになり、会は終了した。この日ひとつになつた気持を、それぞの職場でどう伝え広げるか、私たちの課題である。（広報委員・仲村和子）

日 時

平成28年3月26日(土)
15:00～16:30

場 所

福島県看護会館 みらい





会員の皆さまのご参加をお待ちしております!



平成28年度通常総会は6月4日(土)です。

場所:看護会館みらい 住所:郡山市本町一丁目20番24号

平成28年度 福島県看護連盟通常総会プログラム

期日●平成28年6月4日(土) 場所●福島県看護会館 みらい

9:30 受付
9:55 オリエンテーション
10:00 開会
物故会員への黙祷
挨拶 福島県看護連盟会長
来賓祝辞
来賓紹介
10:25 議長団選出
報告事項
平成27年度通常総会報告
平成27年度諸会議報告
平成27年度活動報告
平成27年度会計報告
平成27年度監査報告

11:00 審議事項
第1号議案 平成28年度スローガン(案)
第2号議案 平成28年度活動計画(案)
第3号議案 平成28年度予算(案)
第4号議案 役員選出
自由民主党福島県支部連合会看護連盟支部報告
新役員・退任役員挨拶
綱領宣言
連盟の歌齊唱
11:40 閉会
----- 休 憩 -----
11:50 特別講演
テーマ
「看護の代表者が国政の場にいることの大切さ」
講師
日本看護連盟会長 草間 朋子 先生
ガンバローコール
12:30 閉会

※プログラムは都合により変更されることがあります。

重
点
目
標

平成28年度活動計画(案)

①会員は第24回参議院選挙に必ず投票する

②確かな政策実現力を持つ ③強力な集票力を持つ ④多くの人材提供力を持つ

I 政治力の強化

目 標	活 動	県	支 部	活 動 内 容
1 看護政策に関する議論を活発に行える環境をつくる	1) 会員への情報提供をより効果的に行う 2) 「現場の声」を国会・地方議員等に積極的に伝える 3) 看護協会とともに陳情・要望活動を行う 4) 看護現場の課題を社会に伝える 5) 非看護職議員を支援する	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	・広報誌「看護連盟だより」を年2回発行 ・ホームページ・フェイスブックによる情報発信を随時行う ・日本看護連盟ホームページ内の「現場の声」書き込みサイトを活用する ・会議、研修、施設訪問などで現場の声を収集する ・議員との懇談会や女性部会議などに積極的に参加する ・協会・連盟合同役員会を年1回、他に2ヶ月に1回程度の事務局同士の懇談会を行い情報交換する ・福島県看護協会と連携をとり、自由民主党福島県支部連合会や議員に陳情・要望活動を行う ・議員との懇談会を適宜開催し、勉強会や意見交換をする ・自民党県議会議員に、要望書の提出や要望趣旨を説明する ・看護を支援する議員との日常関係を強化し、選挙応援をする
2 看護職国会議員への支援・評価をする	1) 第24回参議院選挙の推進 2) 第24回参議院選挙の県の総括をする 3) 関係団体との連携を強化する	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	13,000票以上獲得するための戦略を実施 ・各支部後援会目標数を、組織を通じ役員・支部長・幹事・病棟連絡員・青年部委員が協力して達成させる。 ・役員・支部長・幹事・病棟連絡員・青年部委員が全会員に候補者名の浸透と投票行動を徹底させる ・ミニ研修会や総基礎研修、施設訪問を行い、会員・非会員の理解と協力を呼びかける ・会員以外の関係者に声をかけ協力を得る ・選挙区候補者の活動応援をする ・得票数の分析を行い、次期の連盟活動方針や選挙戦略に反映させる ・関係団体を訪問し、情報交換や看護政策を説明し理解を得る

目 標	活 動	県 支部	活 動 内 容
3国会への影響力を強める	1) 看護職議員、県選出の国会議員への影響力を強化する 2) 国会議員の主催する会合へ出席する	○ ○ ○	・看護問題の解決に向け陳情や要望を積極的にする。 ・国政報告会や講演会等への参加
4地方議会への影響力を強める	1) 県議会議員への影響力を強める 2) 福島県看護連盟の政治力を強化する	○ ○ ○ ○	・自民党福島県議会議員との懇談会を行う ・自民党議員主催の会合等に参加する ・新年交礼会の実施（29年2/4） ・地方選挙では、支援推薦書を出し選挙応援を行い、協力関係を強化する ・政治アカデミー卒業生を活用し、研修会の協力や講師になる。 また、青年部選挙活動の中心になる

II 組織の強化・拡大

目 標	活 動	県 支部	活 動 内 容
1 福島県の主体的活動の促進	1) 平成29年度内に6,800人以上の会員確保を目指す 2) 役員・支部長・幹事・病棟連絡員・青年部委員等の自主性促進を図る 3) 看護管理者や看護教育者の政治参加を進める 4) 第24回参議院選挙の推進 5) 第24回参議院選挙の総括をする	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・支部ごとに前年度会員数+2名増を目標に達成させるための日常活動をする ・ミニ研修会や統基礎研修、施設訪問を行い、理解と協力を呼びかける ・非会員への積極的な働きかけをする ・看護協会役員と共に会員確保のための施設訪問や研修を行う ・全役員対象に研修会を行う ・県・ブロック主催の研修に参加する ・選挙を役員・支部長・幹事・病棟連絡員・青年部委員が全会員に徹底し実施する ・得票数の分析と活動内容を振り返り今後の活動に反映させる
2 支部組織の充実・強化	1) 支部役員・施設幹事・リーダーの意識強化を図る	○ ○	・支部役員会の定例化 ・施設内でのミニ研修、基礎研修、統基礎研修等を通じて現場の声をまとめる ・支部長は、支部幹事や病棟連絡員が役割を果たせるよう支援する
3 ブロック活動の強化	1) ブロックごとの連携を強化する 2) 若手会員の連携強化と意識強化を図る	○ ○	・看護管理者・教育者対象政策セミナーの実施（9/24・25青森） ・ブロックポリナビ集会の実施（5/7仙台） *全国ポリナビ（5/21新潟）
4 若手会員の育成	1) 若手会員の主体的活動を充実・促進させる 2) 積極的に支部の役割に登用する	○ ○ ○ ○	・ブロックポリナビの協力と県の研修の実施 ・地区研修の実施 ・地区青年部、支部青年部委員に新人研修、基礎研修の講師その他の役割を担ってもらう
5 看護連盟の理解者を増やす	1) 退職会員の動向を把握する 2) 他団体及び地域住民との連携強化を進める	○ ○ ○ ○	・各施設の看護責任者から退職者へ、会員の継続を依頼する ・地域で開催される集会等に参加し、意見交換をする ・アンフイニ等の情報提供
6 学生会員の獲得と育成	1) 学生会員に看護政策及び政策実現の必要性について学ばせる	○ ○	・アンフイニ等の情報提供 ・ポリナビや研修会等への参加呼びかけ
7 各級選挙への参加促進	1) 役員・会員の選挙活動の経験を高める	○ ○	・地方選挙活動に積極的参加し政治力を高める
8 繙続的な研修受講により連盟活動への理解を深める	1) 基礎研修の実施 2) 続・基礎研修の実施 3) 新役員・新支部長・新幹事長研修の実施 4) 支部長研修 5) 幹事・病棟連絡員研修 6) 看護部長・管理者セミナーの実施 7) 若手会員研修 8) 若手会員・一般会員研修、OB懇親会等の実施	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・各支部・施設単位で実施し県に報告 ・各支部・施設単位で実施し県に報告 ・県主催で実施（7/22） ・年1回県主催で実施（9/3） ・年2回実施（県、地区それぞれ1回ずつ実施し、地区実施は県に報告）（県主催9/15） ・県主催で実施（12/3） ・年1回（5/24） ・各地区主催で年1回以上実施
9 会員・非会員に対する広報活動を推進する	1) 看護連盟ホームページ・フェイスブック、連盟だより（りれい）などを活用し広報活動する 2) 看護連盟に対する会員の理解を深める 3) 政治・選挙に関する会員の理解を深め、行動する会員を育成する 4) 看護職議員の活動を周知する	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・福島県ホームページの内容の充実や適確な情報の更新。本部からの、Weeklyを掲載 ・福島県看護連盟だよりを年2回発行し、看護連盟の活動の理解を深める ・連盟紹介のビデオやテキスト等を活用し、継続学習する（基礎研修、続・基礎研修等） ・国会見学（10/21） ・連盟ホームページから看護職議員のホームページにリンクしていることを周知させる。 ・国政報告会の開催

わ た シ の 趣 味

アロマハンドマッサージ &女子会



舞子浜病院
斎藤 光子

私の癒し系趣味を二つ紹介します。

一つ目はアロマハンドマッサージです。アロマ教室やエステ、癌緩和研修などで学ぶ機会があり、仕事仲間や患者さんに時折実践しています。コミュニケーションツールにもなり、相手の方も私もほっこり気分になるひとときです。今では他のスタッフも患者さんに実践しており、良い習慣が伝わり笑顔の輪が広がっています。皆で元気を分かち合っています。

二つ目は数十年前から続いている母と妹と私の三人での女子会です。

妹と二人で計画を立て、月一回のレストランめぐりランチと時折日帰り旅行付きランチをしています。行つたことのないレストランを探して楽しいひとときを過ごす事でまた明日から頑張ろうという前向きな気持ちになります。

母も八十五歳と高齢になり、不自由さも出てきていますが可能な限り三人で続けていこうと話しています。



写 真



JA福島厚生連 塙厚生病院
羽田 丈夫

念願の一眼レフカメラ。十数年前秋葉原で手に入れました。現在の機種は二代目。なぜ一眼レフかと言うと、いわゆるモニターの画面が見えにくくなつて来たから…。出かけるときは、車のシートに転がせて、これはという場面に直ぐ使えるようにしておきます。

特に被写体のジャンルはありません。家族・旅先・風景・イベントなど。不思議なことにファインダーでのぞいた画像は、その時の色・香り・温度・音・心の様子など、様々な情景を思いださせてくれます。

息子たちが成長の頃は、ビデオカメラで動画を撮る事が多く、家族で観て時間が共有できる大切な道具でした。しかし、写真の静止画は一瞬の場面に出会うもので、一コマの中から様々な情景を思い出させ想像させてくれます。その間に幸せと楽しさを感じます。

NHKBS放送「てつたび」と言う番組で、鉄道写真家中井精也さんは、鉄道をテーマに人物・風景・その土地の様子を撮り続けています。そのように、何か一つのテーマを持って撮ることを心がけて行きたい。そして、「ベストショット」との出会いを夢見るのが私の趣味です。



私と ハンドケア・フットケア



村上病院
佐藤 典子

私とハンドケア・フットケアとの出会いは、平成二十五年精神科看護学会での出会いでした。

学会のプログラムの中で施術していただくと、セラピストの方の手の温かさ、滑るような手の動きと心地良さに感動してしまい、セラピストになりたいと思ったのです。

偶然にも次の日、福島でスクールがあると伺い、早速受講申し込みをしました。セラピストの認定をとつてからは、家族に施術を行い、疲れを癒してあげている(?)つもりです。施術中眠ってしまうこともあります。スキルアップしたかな?なんて一人で満足しています。

これからは、お世話になっている方々のためにハンドケア少しでもお役に立てればと思っています。



グルメ・温泉旅行



JA福島厚生連
高田厚生病院
村松 浩美

社交ダンスやよさこい踊りを見る事が好きで、習った事もありましたが中々時間がなくて続けられませんでした。退職後に膝の具合が良かったらもう一度習ってみたいと思っています。

グルメ・温泉めぐり等旅行する事も好きで村の隣組のメンバーで積立をして昨年静岡県稻取のつるし雛や河津桜を観光し一足早い春の訪れを感じてきました。又、以前から北海道に行ってみたいと思っており銀婚の記念に十一月後半札幌・小樽に行ってきました。札幌大通り公園のイルミネーションが綺麗で感動しました。その他小樽運河・オルゴール堂や北一ガラス館を散策し、ルタオのケーキを食べたり新鮮な海鮮を食べたりと幸せな気分で満喫してきました。

ところで、札幌にもモアイ像がある事をご存知でしょうか。札幌市真駒内滝野霊園という所にあります。自然豊かな公園でとても大きくて近くで見ると圧倒されますが、一体一体の表情がそれぞれ違い何となく神秘的でした。是非、一度訪れてみてください。北海道の魅力は雄大な絶景で心が癒され、それから毎年北海道旅行をして満喫し癒されています。



●今後の予定●

- 5月24日(火)AM 青年部委員会
PM 若手会員研修会
6月4日(土) 平成28年度福島県看護連盟通常総会
6月14日(火) 平成28年度日本看護連盟通常総会
7月22日(金)AM 新支部長研修会
PM 役員・支部長合同会議
7月26日(火) 青年部委員会
7月29日(金) 広報委員会
9月3日(土)AM 支部長研修会
PM 都道府県別会議
9月15日(木) リーダー(病棟連絡員)研修会



選挙に行こう!

今年7月に参議院議員選挙が予定されています。
棄権せず必ず投票しましょう。

参議員選挙とは

参議院は衆議院と異なり解散がなく、任期は6年と定められていて、3年ごとに定数の半数が入れ替わるよう選挙が行われます。また、参議院選挙は各都道府県の区域を選挙区の単位とした「選挙区選挙」と、全国を単位とした「比例代表選挙」があります。「選挙区」と「比例代表」それぞれに候補者名を書いて投票してください。公示日翌日から、選挙の前日まで期日前投票ができます。是非この期日前投票を利用しましょう。

選挙に行こう!
投票しよう!



編 集 後 記

「幸せは 歩いてこない だから歩いて行くんだね たかがい恵美子 応援します 看護のみらいを開くため…(応援歌より)」先日、たかがい恵美子決起集会に参加し、皆様より一致団結したエネルギーを感じることができました。このエネルギーを福島県の看護職ひとりひとりが国政に届くよう、これからも前を見て進めていきましょう。

(本多)

●広報委員メンバー

委員長 仲村 和子(福島県立医科大学附属病院)
委 員 本多 文子(公立藤田総合病院)

委 員 矢野 英治(総合南東北病院)
委 員 関根 美保(公立岩瀬病院)